

第 2 0 期 第 5 回 八尾市図書館協議会会議録

日 時 平成 3 0 年 3 月 1 4 日 (水)

1 4 時 0 0 分 ~ 1 5 時 3 4 分

場 所 八尾市立青少年センター 3 階 集会室

出席者 (敬称略)

松井 純子 (大阪芸術大学教授)  
北田 信吉 (八尾市青少年育成連絡協議会)  
西村 一夫 (元松原市民図書館長)  
前川 和子 (元大手前大学教授)  
二宮 久子 (八尾市社会教育委員)  
川窪 和子 (大阪市立中央図書館 利用サービス担当課長)  
松井 祥一 (八尾市校長会 : 八尾小学校長)

欠席者

仙田 ひろ子 (大阪府立中央図書館 司書部長)  
和田 友美 (八尾市 P T A 協議会)  
東淨 三佐子 (公募市民委員)  
池田 多瑛 (公募市民委員)

事務局

中山 晶子 (八尾市教育長)  
田中 淳二 (生涯学習担当部長)  
西崎 剛介 (教育総務部次長兼八尾図書館長)  
伊藤 均 (山本図書館長)  
中村 寛史 (志紀図書館長)  
川端 良昇 (八尾図書館館長補佐)  
筒 暁子 (八尾図書館利用サービス係長)  
松井 浩一 (八尾図書館資料係長)  
佐古田 明奈 (山本図書館係長)  
丸谷 奈緒美 (八尾図書館資料係主査)  
小畑 由季 (八尾図書館司書)  
喜多 由美子 (志紀図書館司書)  
  
住本 和美 (龍華図書館長 : 指定管理者)  
岡 告美 (龍華図書館館長補佐 : 指定管理者)

＜松井係長＞定刻となりましたので、只今より、第 20 期第 5 回八尾市図書館協議会を開催させていただきます。本日は、ご多忙のところ、当協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の会議ですが、委員の過半数の出席となっており、会議は成立しております。なお、本日の欠席委員は和田委員、仙田委員、池田委員、東浄委員の 4 名です。それでは、開会にあたり、中山教育長からご挨拶申し上げます。

＜中山教育長＞あらためましてこんにちは。年度末のお忙しい時期にお集まりいただきありがとうございます。第 20 期の図書館協議会は、本日で最終となります。この 2 年間、様々なご意見をいただき、本当にありがとうございます。本日も忌憚ないご意見を頂けたらと思っております。この 20 期の期間に山本・志紀図書館は 20 周年を迎えておりますし、また八尾図書館は 40 周年を迎え、それぞれ工夫していろんなことに取り組んできた状況でございます。龍華図書館については、次期指定管理者の選定を今年度行いまして、12 月議会で議決をいただき、4 月からも引き続き株式会社図書館流通センターに運営をお願いするところであります。八尾市として平成 30 年 4 月 1 日から、中核市に移行し、市制 70 周年を迎えます。「まちは人、やおは人」として八尾市一丸となって進めて参りたいと思います。また何よりも市民の健康づくり、若い世代が八尾にしっかりと愛着を持って育っていくことを中心に据えておりまして、図書館としましても健康づくり、若い世代に対しての関連する資料の充実を図っていけたらと思っております。この後、議案・報告事項等多数忌憚のないご意見をいただけたらと思っておりますので、委員の皆様にはよろしくお願い申し上げます。

＜松井係長＞議事進行を会長にお願いしたいと思います。松井会長よろしく申し上げます。

＜松井会長＞こんにちは。本日はいいお天気に恵まれた中で今期最後の協議会を行います。それでは議題に入ります。次第に従いまして議案 1 平成 30 年度八尾市立図書館事業計画等（案）につきまして事務局よりご説明をお願い致します。

＜川端館長補佐＞それでは議案 1 平成 30 年度八尾市立図書館事業計画等（案）につきまして事務局から、説明をさせていただきます。

平成 30 年度につきましても図書館サービス計画に沿い、引き続き取り組みを進めていきたいと考えております。

基本目標 1 「地域の情報拠点となる図書館」においては、4 館での資料の購入、電子書籍の方針について検討、今東光資料館の運営や地域資料の収集、地域情報コーナーにおける情報発信等提供を、また、学校貸出や団体貸出の充実について引き続き取り組んで参りたいと考えており、龍華図書館において新たに自主事業として電子書籍の提案を受けており、今後協議して参ります。

基本目標 2 「市民生活を豊かにする図書館」においては、公共機関や地域のまちづくり協議会等の活動情報の収集・提供、八尾図書館に市民の学習の場となる学習室を継続し、龍華図書館においても共同研究室を学習室として引き続き提供いたします。また、引き続き市民活動団体の活動支援、情報提供に努めて参ります。

基本目標 3 「すべての市民が利用しやすい図書館」においては、市内 4 図書館の連携したサービス体制を引き続き充実させていくとともに、龍華図書館では休館日を火曜日とし、月曜日の開館を継続いたします。また移動図書館サービスについては引き続き実施しますが、今後については検討してまいりたいと考えております。八尾市全体の施策の基本方針として「健康づくりの推進」「若い世代を育む未来の八尾創り」という柱があり、図書館におきましても利用者に応じた図書館サービスの推進のなかで、

妊婦の胎教活動を応援する取り組み、つどいの広場への司書の派遣、健康づくりの観点から八尾図書館において健康相談会を実施して参ります。次に、障害者差別解消法の対応につきましては、筆談器の設置、対面朗読やデイジー図書の貸し出し等も実施しているところではありますが、施設利用に関し、視覚障がい者への付き添い等、合理的配慮が必要な場合はそれぞれの場面で適切な対応が取れるよう、職員研修等も実施しているところでもあります。情報発信においてもホームページや広報紙において図書館の取り組みについて、お知らせしているところでもあります。

基本目標4「市民に開かれた図書館」においては、平成30年度から第2期目としての龍華図書館の指定管理者制度による運営を34年度まで継続するとともに、各図書館において地域特性や利用者動向、ニーズに応じた取り組み等を進めます。次年度は八尾市政70周年を迎えるにあたりまして、郷土を振り返る等の特集コーナーの設置や講演会を予定しております。また、研修会の相互実施等を通じて資質・向上を図るとともに、公聴メールや提案箱の設置により利用者サービスの把握を引き続き努めたいと考えております。

<松井会長>意見があれば、いかがでしょうか。

<西村委員>資料で、全市的な図書館サービスの展開の中で移動図書館サービスの検討というのがあります。移動図書館サービスの今後についての検討というのはステーションを増やす等によりサービスの充実という方向と、やや後退する部分も含めて2つあると思います。今後どういう方向で検討されるのですか。

<川端館長補佐>平成27年度に龍華図書館が開館されるにあたって、一定ステーションの見直しを行っております。各ステーションの利用状況等の実績を見ながら検討を引き続き行ってまいりたいと考えております。

<松井会長>今のよろしいでしょうか。他の方はいかがでしょうか。

<前川委員>基本目標の3「すべての市民が利用しやすい図書館」の中で2「利用者に応じた図書館サービスの推進」の項目の中で下から2つ目に外国語資料の購入があります。市民の方の中で外国語が必要な方が増えていると思うのですが、予算的にも厳しい中で外国語資料についてその言語を扱う司書等も必要だと思うがどのように準備していますか。

<川端館長補佐>市役所でベトナム、中国語等の通訳がおりまして、何かあれば随時確認対応させていただくこととしております。また、資料につきましても随時限られた予算内ではありますが購入を続けていきたいと思っております。

<松井会長>他の方いかがでしょうか。

<川窪委員>感想ですが、「八尾市第2次図書館サービス計画」の46ページに「地域自治形成の支援」の項目の「まちづくり活動支援情報の充実」という中で、『課題解決』というキーワードがありますが、この「30年度八尾市図書館事業計画(案)」では見当たりません。図書館として事業計画を出すときには、どこかに表した方がいいと思います。もし、この計画に則つてということであれば、基本目標2「市民生活を豊かにする図書館」の「4地域自治形成の支援」のところの「まちづくり活動支援情報の充実」のところに『課題解決』というキーワード追加をなさるといいと思います。時代を反映した計画であるならば、必要だと思います。

<川端館長補佐>ご意見ありがとうございます。

<松井会長>他はいかがですか。一つ私のほうからも聞きたいことがありますが、よろしいでしょうか。基本目標4「市民に開かれた図書館」、「1運営体制の整備・充実」中の①業務効率性の向上の中に自動

貸出機導入による貸出待ち時間の短縮という項目があるのですが、例えば自動貸出機の台数を増やすというのでなければ短縮化に繋がりにくいのではないのでしょうか。それともカウンターで貸出処理を減らして自動貸出機でお願いしますというようなことをお考えなのかどちらでしょうか。

＜西崎館長＞借りられるときに、職員とのお話しを楽しみにする方もいらっしゃる。単純な貸出には自動貸出機の方がスムーズですので引き続き効率化を進めて参りたい。機械の増設につきましては、平成30年度に予定はございません。

＜松井会長＞懸念していたのは、カウンターで自動貸出機の案内は避けた方がいいと思っております。カウンターでやりとりをしながら貸出をするのをいいと考えている人もおられるので、そういう人を自動貸出機にどうぞというのは、図書館として本末転倒だと思います。他にありますか。なければ次の議題に進みたいと思います。報告（1）市内4図書館における利用及び活動の報告について事務局から説明をお願いします。

＜川端館長補佐＞資料2をご覧ください。市内4図書館における利用及び活動状況についてでございます。平成29年度の利用者数、貸出点数、内一般図書、児童書の貸出点数の今年度の1月までの推移及び平成28年度との比較したグラフを掲載しております。昨年度と比較して利用者数においては全体で4.7%減、貸出点数においては全体で5.3%減、となっております。また、年齢別の貸出人数（市内）昨年度と比較した表を掲載しておりますのでご確認ください。

＜西崎館長＞イベントの実施状況について説明させていただきます。

今年2月までの各図書館における主な行事として、新たな取組みを行ったもの、地域ボランティアや他の行政機関と協力したもの等参加者数が多く、アンケートで好評だったものについて掲載しております。

八尾図書館では、移転建替え3周年イベントとして春にボランティア団体と共に実施した工作屋台村は約350人の参加者がありました。図書館40周年記念の関連イベントでは、ルビー婚を迎えるご夫婦の記念写真の撮影会や、閉館後の館内でのバロックコンサート開催、八尾市では初の中学生ビブリオバトルを実施、また、移動図書館での夏休みスタンプラリー、2月には百人一首の世界を楽しむイベントとして講演会や競技カルタの実演と参加、ならびにクイズラリー等、発展型のイベントを行いました。

山本図書館では、親子参加型「子どもえんにち」や、夏休みにはしおんじやま古墳学習館の人気キャラクター、ハニワこうていを招いてのこども向け講座、秋には山本図書館での初の古典落語会や由義寺関連の講演会を実施、参加を募集して間もなく定員に達成する人気イベントとなりました。12月にボランティア団体との共同で開催したお話会は、工作やピエロのパントマイムの実演等もあり、多数の参加者が笑顔あふれるイベントとなりました。

志紀図書館では、おたのしみ袋が人気を博しており、何の本が入っているかわからないので、わくわくすると子どもたちから好評で、夏休み、年末、年始にも実施し、本の貸出に直接つながり、読書の幅も広がるどころが好評となっております。また、コマをテーマに元高校教師による科学実験講座は、普段参加の少ない中学生の参加が多くありました。秋の手作りイベント連続講座は、積極的にホームページやチラシ等でPRに力をいれたところ、参加したことのない利用者の参加も多数あり、最終的に延べ130名の参加となりました。由義寺関連の講演会は、関心の高まりから56名の参加となり、2月のバレンタイン直前「手づくりカード」をつくるイベントは、小さなお子さんから、中学生や若い母親等、年齢を問わず多数参加いただきました。

龍華図書館では、地元企業の協力を得て、「ネジについての役割や仕組みについて、実物と関連資料」を展示したところ、大人の反響も高く、ものづくりのまちとして、関心の高さがうかがえました。バリ

アフリー上映会は高齢者の方々の参加も多くありました。また、食に関連した健康関連セミナーでは、人気の高い書籍を用いて解説が進められ、実生活に役立つ内容と好評でした。秋の古文書講座は、市民の歴史への興味の高まりと重なり、受付後すぐに定員に達しました。年末の「龍華の今年の漢字」発表は八尾高校書道部のパフォーマンスもあり賑わいました。2月の食育セミナーでは、離乳食編や幼児食編に分けて実施、専門家による説明を受けて、安心感が高まった等の感想をいただいております。

4 図書館合同イベントとして、夏の期間、読書通帳を活用したスタンプラリーを開催、図書館来館の習慣付けや、司書との話すきっかけが増える等、盛況に終り、この間の読書通帳の配布は前年度比で1.4倍となりました。全体的にみると、こども向けには、スタンプラリーやクイズ形式のイベントの参加者は多く、親子参加型、おたのしみ袋等わくわく感の高まるイベントは盛り上がる傾向にあります。中学生は体験型のイベントへの興味が高いですが、年齢層にあった企画立案の難しさを実感しております。傾向として、絵本や子育て、親子の触れ合いに関するニーズの高まり、健康への関心、塔跡発見による歴史関連講座の人気は高まっております。今後とも、人と本、人と人がつながるイベントを企画したいと考えています。

<川端館長補佐>続きまして、平成27年1月から各図書館におきまして、利用者から提案箱にいただいたご意見について、毎月館内の掲示板に回答を掲示しております。各館における課題もさまざま、各館の要望事項も多岐に渡ることから、5つのカテゴリーに分けて集約し代表的なものを掲載させていただきました。館毎にそれぞれ課題のあるものや全館共通の課題もございしますが、これら意見について対応できるものは極力対応し、できないものについてはその旨を回答しておりますので、ご確認賜りますようよろしくお願いいたします。

次に、龍華図書館での利用者アンケートの結果につきまして、ご説明申し上げます。平成29年12月6日(水)から13日(水)までの間に、来館された利用者カウンターで手渡しにて用紙を配布し、館内の回答箱で回収しました。有効回答244件、58.1パーセントの回答率でございます。アンケートの中身につきましては、主なものとして、利用回数では週1回以上と答えた利用者が約57パーセント、来館方法は無回答を除くと自転車、徒歩が約76パーセント、利用時間は30分以内と1時間以内を含めると86パーセントを占めています。スタッフの接遇については、満足、やや満足と評価する方が90パーセント以上と評価しています。また、設備面や蔵書についてですが、設備については一定の評価を頂戴しており、蔵書につきましては、増やして欲しいとの声もありますが、徐々にではありますが増やしてきております。

その他の意見としましても、スタッフに対する激励や感謝等もいただいております。先ほどの提案箱の報告の項目と重複する部分もありますが、ご確認いただければと思います。

<前川委員>質問がいくつかあります。利用統計で、昨年度に比べて減少した結果の原因分析をお聞かせください。2つ目は行事ですが、様々に頑張っていて素晴らしいと思いました。一重に図書館員のご努力であり、毎日大変な業務をしながらこれだけのプログラムを作り、実行されて成果を上げているし、時間がない中で頑張っていると思います。なので、研修時間とか、ちょっとしたご自分たちの交流が豊かにとれていないのではという想像も致しますが。次に、各図書館の特色が少しずつでているのは良いことだと思います。地域的な良さを生かすとともに、今後は、相互の交流が必要だと思います。3つめとして、龍華図書館は、指定管理者がアンケートを実施されておりますが、他の3館の状況もどうなのか、考えていかなければいけないと思いますが、いかがですか。

<西崎館長>1つ目の減少傾向の件ですが、立て続けに建替えや、龍華の新設等により貸出や利用者が

増えピークを迎えていたが、それが落ち着きつつあるのではないかと分析しております。減少傾向につきましては、平成 28、29 年度が減少している中で減少幅が縮まってきている現状にあります。今後は、イベントやレファレンスをしっかりしながら、減少幅を減らしたいと考えております。2 つ目ですが、イベントについては、各館の取り組みの状況をお知らせしたいのと、新しい取り組みや評価が高かったイベントについて掲載しております。これ以外にも定例のおはなし会等も開催しており、取り組み事例を各館でも共有しながら、次年度の計画に活かしていきたいと考えております。3 つ目のアンケートの件ですが、龍華図書館ではアンケートを実施しておりますが、直営館のアンケートにつきましては、平成 27 年度に実施しておりますが、早い段階で実施していきたいと考えています。

<田中部長>スポーツ施設にも同じ傾向が見られたのですが、昨年に比べて 10 月の落ち込みが他の月より大きくなっているのは、台風が連続して来た状況がありました。10 月に限ってはそういうことも影響があると考えております。

<松井会長>他の方がいいでしょうか。

<二宮委員>イベントについてお話し伺いましたが、私もボランティアの活動をしており、いかに人を集めて、どうやって来てもらうかが一番の苦勞だと思います。様々な案を練ってやってもらっていることを痛感させられました。八尾図書館で「大人も子どもも作って遊ぼう！工作屋台村」がありますが、子どもだけの参加ではなく、保護者同伴にすることで大人が子どもに「行ってみよう」と声を掛け、参加するきっかけとなり、かなりの人数が集まったと思います。図書館ボランティア団体が連携を図ることにより、こういったイベントについて市政だより等を通じて知らせるのが大切だと思いました。

<松井会長>他の方がいいでしょうか。

<北田委員>山本図書館におきまして、貸出人数の 60 才以上の割合が高いのは何か事情あるのでしょうか。

<伊藤館長>60 歳以上の方に対して何か特別にやっているかということではありませんが、地域が広く、館内には 3 中学校区、7 小学校あります。また駅前であり立地条件もよい。そういうことで、年配の方も気軽に来館いただいていると考えております。また、コミュニティセンターが併設しており、様々な講座、行事が行われております。例えば月一回、土曜日にカラオケの講座が行われておりまして、非常に多くの年配の方がご利用されており、講座が終わりましたら、図書館へ借りに来られるということもあり、併設の相乗効果があると考えております。

<松井会長>ありがとうございました。他の方がいいでしょうか。

<西村委員>龍華図書館のアンケートについてお伺いしたい。図書館サービスの評価が高く、様々な工夫をされてサービスを行っておられる。7 番目の本の探しやすさの項目ですが、満足よりやや満足とされている方が多く、利用者目線での資料の配架、館内案内も含めて図書館の工夫が求められる点だと思う方がいいでしょうか。

<住本館長>ありがとうございます。特に、一般の書架等は、書架の配置が細切れになっており、配架計画を立てるときに悩んだところではあります。分野毎にまとまって配置しておりますが、利用者から見てわかりにくい部分があるので、蔵書点検中に利用の多い医学部分をまとめて設置する等の工夫をしております。またサインを増やすとか、同じような書架が並んでいるため、どこにいるのかわかるように書架に現在地を貼る工夫等をしてしておりますが、今後も改善をしていきたいと考えております。

<二宮委員>広さもあるし、場所を探すのに困ったことがありました。図書館内に目安とかを貼ってもらったら行きやすいとか言った記憶があります。

＜西崎館長＞本の探しやすさということでは、高齢者や全体に裾野を広げたいと思っているので、利用しやすい図書館を目指したい。司書がフロアにいるので、積極的にお声かけし、読書相談に繋がりたいと考えておりますので、そういう部分での探しやすさを手伝っていく部分では今後とも続けていきたいと考えております。

＜松井会長＞よろしいですか。

＜前川委員＞西村委員からのご質問で本の探しやすさということで思ったのは、OPACの事を思いました。どうやって検索できるか、ブラウジングも含めて、広い意味で質問されているのかと思います。二宮議員によると、館内の資料の場所がわかりにくいということですが、サインやチラシのようなものを、おそらく用意されていると思うが、ちょっと利用者にとってわかりにくいのかと思います。

本を検索するときのOPACの使い方ですが、その使い方が本の探しやすさのことを指してこのアンケートの結果となったかどうかわからないですよ。

＜松井会長＞他の方はいかがでしょうか。すいません。私の方から少しだけ質問させていただきます。行事、いろいろなイベントを実施していただいて成果が出てよかったと思います。今年に山本・志紀図書館開館20周年、八尾図書館開館40周年等の記念イベントをなさったと理解しているんですが、記念の年でなくなる来年以降は、イベントが減ると言うことは想定されているのでしょうか。

＜川端館長補佐＞来年は市政70周年、中核市となりますので、随時イベントの方は開催させていただき予定にしております。

＜松井会長＞志紀図書館は多彩なイベントを計画、実施して効果があったと推測できますが山本はあまりイベントの数がないですね。

＜西崎館長＞今回載せているのは、主なものや目新しいものを中心に挙げているので全てではございません。

＜松井会長＞利用状況を見ると志紀図書館の利用が減っているということが目立ちますが、利用が減ってきている状況について利用を上向かせる具体的な方策があればお聞かせ願いたい。

＜中村館長＞ありがとうございます。おっしゃるような年々利用者数、貸出点数において減少してきています。特に、龍華図書館ができてから、これまで志紀図書館に来られた方が龍華図書館に行かれるという状況があります。どうしたら利用が回復するのか考えながら事業運営をさせて頂きました。西崎館長のお話がありましたように、志紀図書館においても平成28年度と平成29年度を比べますと減少率は小さくなっております。平成29年度の減少率をできるだけ小さくしていこうと考え、私が就任した4月以降イベント、行事について進めさせていただきました。司書には忙しい中にもかかわらず、様々な取り組みを提案してもらい実施して参りました。例えば行事の中で「おはなし会」でお楽しみ袋を7月にはじめて実施し、大変好評でありましたので、さらに年末、正月の福袋といった取り組みに繋げて、できるだけ楽しみを持って図書館に来ていただく、本を読んでいただくといったイベントに力を入れて1年間やって来ました。来年度についても親しみやすい図書館を目指して、いろんなイベント企画して利用していただきたいと考えております。

＜松井会長＞いかがでしょうか。

＜川窪委員＞大阪市立図書館においても利用者数、貸出冊数が減っております。平成19年度から平成22年度にかけて知識創造型図書館改革プロジェクトの中で開館日数を中央館で50日、地域館で20日増やしました。それで一時貸出冊数は増えたのですが、それから徐々に減ってきており同じ課題を抱えております。大阪市においては、電子書籍サービスを平成23年度より始めまして、平成26年から音楽

配信サービスも始めまして、電子図書館機能の充実と非来館型サービスの充実も視野に入れたサービス展開をしていきたいと考えております。感想ですが、特に志紀図書館のイベントは、予算も少ない中、関係機関との連携や市民協働で多彩な取り組みをされておられます。例えば子どもの読書推進に向けては、すごく充実した内容であると感心したところがございます。

<西村委員>そうですね。なかなか、資料を増やし続けるのは、35年間松原市民図書館にありましたので、難しいことは理解しております。八尾市の資料費も減っており、その中でも資料提供を中心にしながら、行事等のサービスを含めて様々な努力をされているのは全体としてはよく分かります。平成28、29年を比較して5%程度の減で努力されていると全体としては見れると思っております。現場にいても苦しい状況があると思えます。協議会としては頑張ってもらって下さいと言わせていただきますが、全体としてはよく頑張ってもらえると思えます。

<松井会長>私個人としても努力して運営していると思っております。志紀図書館が駄目だとは決して思っておらず、むしろ蔵書も充実していますし、志紀図書館の良さがさらにPRできれば、これから利用が増えると確信しております。館長の話聞いても非常に力を注いでいると実感できますし、職員の努力に期待しております。

<前川委員>今までの議論をお聞きして、新しい図書館が開館されることによって、貸出とか利用人数が増えた。それが次の年度を迎えてインパクトが減ったために全体的に減っているというのはよく分かります。新しい図書館が市民にとってなぜ魅力的なのかというと、新しい魅力的な空間と資料だと思います。建物自体が古く、美しく見えないということは、新しく見える本で努力しています。資料はどんどん古くなるので、常に廃棄をしながら、新しい本を入れないと市民にとっては魅力的ではないと思います。資料は常に更新し続け、空間は古くなくても魅力的な空間であるように維持するためインテリアを変える、かべ紙やトイレ等の設備の一部更新等の予算の獲得が必要だと思います。他の地方自治体の予算はどうか、比較検討されているのでしょうか。地方自治体にとっては、どれぐらいを獲得目標にしているのですか。

<西崎館長>資料費につきまして、これまでご意見を頂戴しておりますが、これまで、八尾図書館を建て替えたり、龍華図書館を開館するにあたり、資料費として投資的経費を含めまして8年間で約5億7,500万円の予算を執行し、約32万点の資料を購入しました。蔵書は約70万点ありますので、半分近くが新しい資料となっております。蔵書を使いながらこの3年間で毎年200万点を超える貸出点数となっておりますので、蔵書の割合に対して、貸出点数は高い水準にあると考えています。他市と比較しまして蔵書数において政令市を含めて府下でも10位以内であり、貸出点数におきましても8位となっております。蔵書回転率が府下でもかなり高水準にあるのですが、ニーズを見極めた選書を行い、図書館の機能と致しまして、貸出至上主義という時代もありましたが、課題解決型の図書館を目指して運用しております。資料数だけでなく課題解決につながる蔵書を持っているのか、レファレンスをしているのか今後の図書館において重要な役割だと考えております。そういった部分でも予算を獲得していきたいと考えております。

<前川委員>ありがとうございます。努力はよく分かっております。課題解決型にも力を入れており、それは目に見えない、数値に表れないということをおっしゃりたかったのかと思います。課題解決の件数を目に見える形であれば、今回は示されていないので、目に見える形になるようなことを考えて頂けたらと思います。

<西崎館長>後ほど図書館サービス計画の進行管理ということで、中間報告させていただきますが、



目標数として定めやすいものはこのように書けるが、課題解決につながったかどうかの指標として持ちにくい部分があります。具体的な数値としてどうするかは出しにくいですが、検討していきたいと思います。実際、健康ニーズ、子育てニーズが高まっており、それに対する課題を抱えて来館していただいている方もたくさんいらっしゃいますし、そういう方のニーズに応えていきたいと考えております。

<松井会長>時間もかなり経過しているので、次の議題に進みたいと思います。報告事項(2)に移ります。

(2) 八尾市第2次図書館サービス計画の進捗状況について事務局より説明をお願いします。

<川端館長補佐>続きまして資料3(2)第2次図書館サービス計画の評価指標における進捗状況についてご説明させていただきます。

資料について1点修正があります。裏面の開架回転率の達成率ですが、平成21年度末は150.0%、平成28年度末は128.3%に修正をお願いします。

まず、表の中、基本目標IからIVにおいては、平成32年度の目標値に対して平成21年度、及び平成28年度の実績値及び達成率を掲載しております。

また、裏面の網掛け「第2次図書館サービス計画全体の評価指標」については、「八尾市の望ましい水準」との比較となっております。

運営の状況ですが、近年、八尾図書館の移転開館や龍華図書館の新規開館等に伴い新規に図書館資料を大量に購入し蔵書充実を図ったこと、また、開館時間の延長や祝日開館等、あるいは、指定管理者による自主事業の実施、各館における様々なイベントの開催等により、計画開始である平成21年度と比較すると、個人貸出点数や、イベントの開催数や参加人数、行政資料・郷土資料を含め蔵書点数や開架資料数は増加している。一方、I-3レファレンス件数の減少は、インターネット閲覧環境の整備を図ってきたことが主な原因と考えております。III-2学校団体貸出点数は減少しているが、ここ数年は横ばい。今後とも学校図書館と連携し、市全体で子ども達の学習支援を進めていきたいと考えている。裏面の宅配サービス訪問回数の減少は、利用者の高齢化により施設に入居・入院のためやインターネットやパソコンの普及で別方法による読書活動に移り変わっているものと分析しています。

III-3ホームページアクセス件数は減少しておりますが、これは平成25年度にシステムを入れ替え、その際にカウント方法が変わり、以前は、複数のページを閲覧すればすべて延べでカウントされていたのに対し、変更後は、延べではカウントされないように修正になったことが主な原因であり、平成28年度は198万2685件となっております、平成27年度に比べて41万件以上増えております。

下段の評価指標の欄は、平成21年度と比較すると増加の傾向はありますが、とりわけ、蔵書数に対する貸出点数の割合は、比較的高い水準にあります。開架回転率につきましては、龍華図書館における開架資料も徐々に増加しており、今後数値の伸びに繋がりたいと思っています。

計画策定時より図書館をとりまく社会・経済の状況は変化し、図書館に求められる役割や蔵書構成を見極めながら、地域図書館にふさわしい運用を引き続き行う必要があると考えています。

<松井会長>ただ今の説明に対して、ご意見等がありましたら、よろしくをお願いします。

<松井委員>今の話の中で、学習支援をということがありましたが、小学生を対象にしているのか、中学生等の学習支援をどうしていくのか。インターネットの環境整備について、Wi-Fiの整備はできていますか。お聞きしたいのはこの2点です。

<川端館長補佐>1つ目の質問ですが、八尾市におきましては、子どもの読書活動推進計画の改定を今後計画しており、中・高生も含めた層に対する図書館サービス内容も検討していく予定であります。2

つ目の質問ですが、八尾、龍華図書館についてはW i - F i 設備を整えている状況でございます。

<松井委員>ありがとうございます。志紀図書館にはW i - F i はないのですか。

<中村館長>ないです。

<松井会長>志紀図書館と山本図書館はないということで、整備計画もないということですね。

<川端館長補佐>現時点での整備計画はございません。

<松井会長>ありがとうございます。できるだけW i - F i の整備される方がよろしいかと思えます。他の方がいいがでしょうか。

<川窪委員>平成 21 年度の実績数値を元に、平成 22 年度に「第 2 次図書館サービス計画」を策定されたと伺っております。長期計画にもかかわらず、平成 32 年度までの目標数値をしっかりと決めていらっしゃる。経済や予算状況も変わる中、決めているのは驚きです。トップページのカウント方法もシステムが変わっているので、それに見合う形にするとか、一度見直しを図られる方がよいかと思えました。

<川端館長補佐>ありがとうございました。今後、検討させていただきます。

<松井会長>川窪委員の意見に基本的に賛成で、状況が変化しているので、検討していただけたらと思います。他の方はよろしいですか。特にこれ以上ないようでしたら次の議題に移ります。報告事項(3)平成 30 年度八尾市立図書館予算(案)について事務局より説明をお願いします。

<川端館長補佐>平成 30 年度八尾市立図書館予算(案)について説明させていただきます。(3)平成 30 年度当初予算のうち教育費につきましては、71 億 2,010 万 4,000 円となっております。そのうち図書館費は 4 億 8,625 万 8,000 円となっております。教育費全体に占める割合は約 6.8%となっております。

平成 29 年度当初予算と比較しまして図書館費全体では 171 万 8 千円の減となっておりますが、主な増減理由としまして八尾図書館ビル管理委託の入札による減、龍華図書館の指定管理料の減が要因でございます。資料費につきましては、昨年度と同額約 4,127 万となっております。大変雑駁な説明でございますが、よろしくをお願いします。

<松井会長>ただ今の説明に何かご意見はございますでしょうか。特にございませんでしょうか。1つだけお伺いしていいでしょうか。龍華の指定管理料の減少の直接の理由はございますでしょうか。

<川端館長補佐>指定管理料の減少の主な理由の 1 つは、当初指定期間の 3 年 8 か月については、光熱水費が精算方式によるものでありました。今回の指定管理料の予算査定の際には、龍華図書館の光熱水費のこれまでの実績額を踏まえたものとなったため、減少となっております。それに基づき指定管理者の募集を行った結果、引き続き指定管理者となった図書館流通センターより提案していただき決定した金額が今回の指定管理料となっております。

<松井会長>最初から減額ありきの予算措置ということではないですか。

<川端館長補佐>実績を踏まえたうえでの予算額となっておりますので、ご理解のほどよろしくをお願いします。

<松井会長>他の方はいかがでしょうか。特にないようでしたら、次の報告に移ります。報告事項(4)読書通帳の新しいデザインについて事務局より説明願います。

<西崎館長>図書館の利用者に広く親しまれている読書通帳ですが、お手元資料のとおり、表紙デザインを一新し、この 4 月より配布を予定しております。

今回、デザインいたしましたのは、八尾市在住の童画家である徳治昭氏で、八尾市文化新人賞の受賞者であり、八尾図書館「おはなしのへや」のカーテン画等を手がけておられます。そのほか、絵本や画

集の展示会、宝くじデザイン等多方面にて活躍中の作家です。

また、裏面には読書通帳のスポンサーを掲載しております。広告主について募集を行い、2社の入れ替わりはありましたが、平成29年度と同じく5社の掲載となっております。

新しいデザインの読書通帳の広報は、市政だより、館内ポスター、ホームページ等により周知を図り、この機会を捉え、積極的に図書館における読書活動の推進をPRし、4図書館が協同して、新規登録や貸出点数等の増加を図って参りたいと考えております。

<松井会長>何かご質問等はございますでしょうか。特にはございませんでしょうか。このデザイン1種類でしょうか。

<川端館長補佐>そうです。

<松井会長>この件につきましては特にないでしょうか。それでは、次の報告に移らせて頂きます。

(5) 今東光 春期企画展について事務局より説明をお願いします。

<西崎館長>平成30年3月17日(土)から、『「東光の舌」そして、河内の味の虜となった』をタイトルに企画展示を開催しております。今東光は、食通としても知られ、雑誌エッセイ、自身の小説等において、グルメに関連して非常に多くの記述を残しており、著名な老舗料理店や和菓子店とも親しく、数多くの文豪・文化人との交流の場としても利用しておりました。

今回の展示では、今東光が残した資料を読み解き、また、現存する店舗や関係者等の取材を経て、当時の八尾、河内の食文化を紹介するとともに今東光の人物像に迫っております。

お手元チラシには、今東光が好んだ天台鍋、ビフテキ、若ごぼうの炊き込みごはん、枝豆腐等をちりばめています。

グルメに関心の高い方々への訴求も高いと考えておりますので、その切り口で裾野をひろげ、今東光資料館にこれまで来られなかった人々にも、おいでいただきたいと考えています。

<松井会長>その他ということでは何かありませんか。議事は以上ですので、事務局にお渡ししてよろしいでしょうか。

<川端館長補佐>第20期の図書館協議会も特段の緊急な事案が見られない限り、本日の会議をもって終了となります。この間、委員のみなさまには八尾市の図書館運営につきましてご熱心にご協議賜りありがとうございました。なお、次期第21期の図書館協議会につきまして、今後、市民委員の公募を行う予定となっております。また、新たな協議会委員につきまして5月の教育委員会議において決定していく運びとなりますのでよろしくお願い申し上げます。委員の皆様ありがとうございました。